

My job



紀の国住宅株式会社 建築部

藤原 祥剛さん
第三課 係長
2005年入社



お客様とコミュニケーションを取りながら 一緒に家を作り上げられる喜びがある。

**知識、経験はもちろん、
案件ごとの
臨機応変な対応が
要となる現場。**

高校の建築科、専門学校の建築学科を卒業後、地元・和歌山で就職したい想いと、紀の国住宅の地域密着型の社風に惹かれ、入社を志願した藤原さん。建築部に所属して、8年。かつての新人時代を、こう振り返る。

「先輩と同じことをする、ただそれだけのことが大変でした。(施工)現場に出入りする様々な職人や業者さんと話をし、そのためには、とにかくたくさん知識を身につける必要がありますね。現場責任者として、職

人や業者と膨大な専門用語や知識を交え、的確な伝達や指示を行うのが建築部の仕事だ。現在、係長の席に着く藤原さんだが、キャリアを積んでも「筋縄ではいかない難しさがある」という。
「うちは分譲住宅がメインですが、ときには注文住宅をお受けすることもあります。その場合、分譲地以外での施工となるため、事前情報のない土地について、わたしたちが調査する必要がありますね。実際に足を運び、周囲の環境などを細やかに把握しなければいけない。そういったケースによって臨機応変な対応が必要とされるところが難しいですね。知識があってもどうにもで

きないのです」。

お客様と一緒に作る、 そんな気持ちある 取り組みが のちの喜びに繋がる。

職人や業者とのやり取りが仕事の大半となる建築部。だが、やはり仕事のやりがいになるのは、お客様の反応。だと藤原さんは言う。「お家のお引き渡しをして、実際に住まわれた後も、アフターサービスの

対応などで訪問させていただくことがあるんですね。そのとき、住み心地の良さなどを喜んでいただいている声を聞くと、やはり嬉しい。それが一番のやりがいですね。強いこだわりを持ってご注文いただくお客様などは、ご希望に対してこちらも粘り強く考えて提案する。ひとつの家を、お客様と一緒に作っている喜びがありますね」。

顧客の要望を汲み取

り、職人や業者への伝達役もこなす。知識・経験が必要な現場ながら、大きな作品を完成させるべく指揮をとる重大な任務は、何にも代え難いやりがいを生むようだ。

- 7:00 起床
- 9:00 出社→朝礼・ミーティング
- 10:00 発注業務
各現場確認・検査
昼食
- OB 客様訪問・アフターサービス等
- 18:00 帰社
夕礼・ミーティング
発注・事務処理等
- 20:00 退社
- 24:00 就寝

Stance of work

限られた時間であっても、
お客様、業者、職人さんとの
コミュニケーションを怠らず。

